

おたふくかぜワクチンの接種について

【接種対象について】

生後12ヵ月以上でおたふくかぜにかかったことのない人には、性や年齢に関係なく使用できます。おたふくかぜにいちばんかかりやすい年齢は4～5歳前後なので、2～5歳の間に接種を完了しておくことが望まれます。

【接種を受けることができない人】

次のいずれかに該当する場合には、接種を受けることができません。

1. 明らかに発熱している人
2. 重篤な急性疾患にかかっている人
3. おたふくかぜワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人
4. 免疫機能に異常のある疾患を有する人及び免疫抑制をきたす治療を受けている人
5. 妊娠している人
6. 上記に該当する人のほか、予防接種を行うことが不適當な状態にある人

【接種を受けるに際し、注意を要する人】

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当する場合には、注意して接種を受けなければいけません。

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する人
2. 前回の予防接種で2日以内に発熱のみられた人又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある人
3. 過去にけいれんの既往のある人
4. 過去に免疫不全の診断がなされている人
5. おたふくかぜワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある人

【ワクチン接種後の注意】

1. 予防接種を受けた日は、入浴しても差し支えなく、接種部位を清潔に保って下さい。また、いつも通りの生活をし、はげしい運動は避けて下さい。
2. 接種後2～3週間経った頃に、まれに発熱、耳下腺の腫脹（はれ）、嘔吐、咳、鼻汁等が起きることがあります。もし、局所の異常反応や体調の変化さらに高熱、けいれん等の異常な症状が生じた場合には、速やかに医師の診察を受けて下さい。